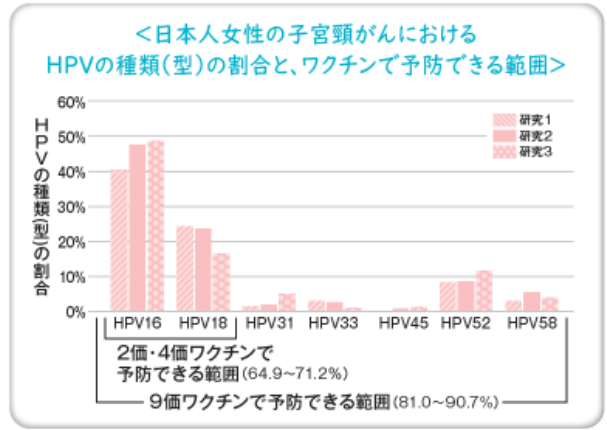


知っていますか？ HPVワクチン について



「9価ヒトパピローマウイルス(HPV)ワクチン ファクトシート」(国立感染症研究所)をもとに作成
研究1:Onuki, M., et al. (2009). Cancer Sci 100(7): 1312-1316.
研究2:Azuma, Y., et al. (2014). Jpn J Clin Oncol 44(10): 910-917.
研究3:Sakamoto, J., et al. (2018). Papillomavirus Res 6: 46-51.

HPVワクチンは子宮頸がん予防のワクチンです。

HPVワクチンは、平成25(2013)年6月から、積極的な勧奨を一時的に差し控えていましたが、令和3(2021)年11月に、専門家の評価により「HPVワクチンの積極的勧奨を差し控えている状態を終了させることが妥当」とされ、令和4(2022)年4月から、他の定期接種と同様に、個別の勧奨を行っています。

今からできること

日本では、小学校6年~高校1年相当の女の子を対象に、

子宮けいがんの原因となるHPVの感染を防ぐ

ワクチンの接種を提供しています。

HPVの感染を防ぐことで、

将来の子宮けいがんを予防できると

期待されています。

カナダ、イギリス、オーストラリアなどでは

女の子の**8割以上**がワクチンを受けています。



全てのワクチン接種には、効果とリスクがあります。

まずは、子宮けいがんとHPVワクチン、
子宮けいがん健診について知ってください。

小学校6年~高校1年相当の女の子と
保護者の方へ

対象年齢なら、

約10万円のワクチンが公費(無料)で接種できます。

公費(無料)対象者: 小学校6年生~高校1年相当の女性(定期接種) および

16~26歳の女性(1997年4月2日~2007年4月1日生まれ)(2025年3末まで)

HPVワクチンについて、もっと詳しく知りたい方は →

